



▲手狭で危険度の高い市道



岸川 弘文

事故が多い四条、三ヶ島線

市長 危険箇所にはガードレール設置

問 市道四条・三ヶ島線の通学路は歩道幅員が1・6m。しかも自転車と歩行者兼用で道路構造からこの幅員では狭すぎ危険であると同時に車道の運転席からは、縁石

が死角になり年7件の事故が多発しており、未然に防止するためにも集落内の狭い所に目に付きやすいガードレールの設置はできないか。

答 (建設部長) 歩車道境界

ブロックが低いため事故が多発して予測される場所には、運転手の視野に入り易いようガードレールを設置する。

問 昨年、市道西川・大戸ヶ里線で軽トラックがクリー

クに突っ込み、死亡する事故が発生。ここにガードレールが設置されていれば死亡事故は、発生していなかった節も考えられる。この場所の対策と市内クリーク沿いの危険な箇所は。

答 (建設部長) ガード

レール設置を必要とする箇所は、35路線程度。西川・大戸ヶ里線の1,900mは、6月補正で計上予定。

○小城市体育協会のあり方について

その他の質問



富永 正樹

小城市民図書館機能のスリム化は

教育長 図書館は生涯学習の拠点として位置づけたい

問 本年1月から本庁方式がスタートしたが市内の公共機関の統廃合という流れの中で、図書館機能の向上とスリム化を図り、これから集まる

遅れないよう戦略的、計画的にやる必要は教育委員会としては感じている。

問 地元知見を集め6次産業化を図れ

問 市はCSOへ委託し6次産業

化の事業に取り組みが、まずは地元知恵や力を活用してやるべきでは。

答 (産業部長) 勉強

会で詳しい指導をいただき、秋頃にはモデルとなる



▲4ヵ所の図書館①小城②三日月③牛津④芦刈

その他の質問

○グループホーム等、福祉施設の安全対策について



北島 文孝

学外でのスポーツ指導の
あり方は

教育長

行政としての担当は
生涯学習課である

問 学外指導の中でいじ
めや過激な指導で子
供達が傷つけば、結局そ
の子供達は学校現場に引
きずることになる。教育
委員会としても積極的に
かかわるべきではないか。

状況は。
③ 甲柳原と乙柳の道路柵
の解決策は。
④ 国道203号線バイパ
スの見直しは。

答 (教育長) 学校と社
会教育の連携をもつ
て今後PTAや育友会の
総会また研修の場をもつ
て望ましいスポーツ観、
親の子育て観等を研修す
る。

答 ① (市長) 十分検証し
議会で説明して、6
月議会に再度上程する。
② (総務部長) 用地取
得ができていない。
現在路肩の破損と、
のり面のはらみの一
部を補修している。
③ (産業部長) 地元
の理解が得られたの
で、4月1日に開通
を予定している。

○ PM2.5について
○ 生活保護の受給等につ
いて

その他の質問

民と行政の意見を聞くス
ケジュールになっている。

未解決の課題に
ついて

問 ① 浄化槽条例につい
て、今後の対応は。
② 市役所西側道路の進捗

④ (市長) 今後環境影
響評価準備書を都市
計画案とともに公示
縦覧をし、その後住



▲ 4月1日に開通した甲柳原、乙柳線の道路



下村 仁司

農道・生活道の
離合場所は作れないか

市長

市の単独事業での基準を作る

問 離合困難な農道兼生
活道や農業機械の近
代化によって農作業中
に

離合のトラブルが多い、
芦刈く江北線のような再
舗装工事の無駄な行政予
算があるなら農道・生活
道の拡幅工事、離合場所
でも。

答 (市長) 農業基盤整
備促進事業の活用も
あるが当面の対策として
市の単独事業を検討する。

牛津川の葦焼き
今がチャンスでは

問 牛津川の浮遊ゴミ問
題は中島議長を先頭
に小城市・多久市議合
会で調査陳情しました。

去年の7月の豪雨の時の
浮遊ゴミが葦原に堆積し
ており、ま
た大雨が降
れば有明海
に流れ出ま
す。全国各
地の大河で
は、葦原焼
きが春の風
物詩として
観光地化さ
れている。
葦原焼きで
ないか。

答 (市長)
野焼き

について前
向きに検討
したい。関
係団体、関



▲ 葦焼きは煙も心配されるが…



江島佐知子

交流プラザは 地元との協議必要

市長

進捗状況を説明しながら
進めていく

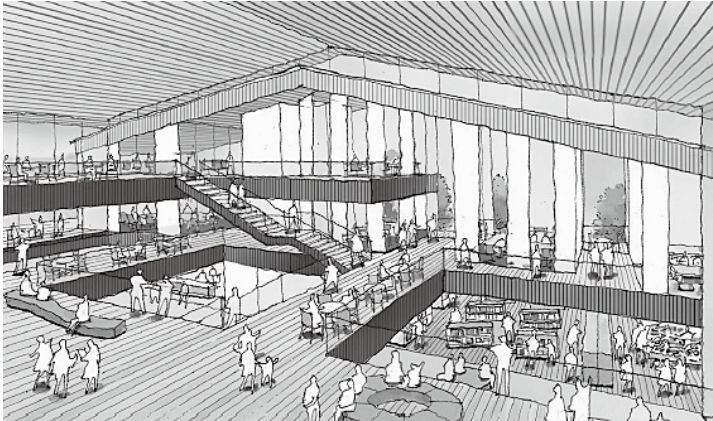
問 小城庁舎跡にまちな
が市民交流プラザが
建設される。地元から周
辺整備について要望書が
出ているが、

- ①地元との協議が不十分ではないか。
- ②アクセス道路整備はどうなっているか。
- ③駐車場の整備と管理について。
- ④プラザ内の物販は近隣商店街への配慮が必要。

答

(市長)

①北小路
自治会と随時、



▲まちなが市民交流プラザの内部イメージ図

進捗状況の説明をしながら進めていく。
②小城庁舎西側道路は4〜5mセットバックして

歩道を整備する。国道との接続部分については現状では無理。北からの進入路は利用状況を見て改善を考える。

③100台の駐車場を整備。不足分は小城公園の方を利用してもらい周辺商店街に無断駐車のないよう交通誘導員を設置する。夜間は施錠して車が入らないようにする。立体駐車場の整備は困難。
④商工会議所や近隣商店街と協議しながら決定したい。

その他の質問

○小城市の財政状況について



合瀬 健一

市営浄化槽事業の行方は

市長

早目に展開をしていきたい

問 先の定例会において
小城市市営浄化槽条
例が否決された。今議会
に小城市市営浄化槽事業
受益者分担金徴収条例を

廃止する条例が提案されている。この条例が可決されると、市営浄化槽事業そのものができなくなると。早く浄化槽を引きたいという下水道事業工

業の期待に反することになるが、この事業の今後の見通しは。

答 (市長)
下水道

計画区域外の地区は合併浄化槽での整備をすため条例

答 (下水道課長) 今後の調整の中で検討していきたい。皆様方から理解をいただけるような内容で説明したい。

問 6月議会に提案される条例で、プロアの電気代はどうなっているのか。この前と全く一緒の条例が提案されるのか。

業の基本方針及び他市町の事例等を調査、検討し、議会と十分議論を図って、6月議会に再提案したい。



▶浄化槽事業を早く！



大坪 徳廣

農業を市の基幹産業として位置付

市長

何よりも農業者の創意工夫を生かす

問 農業を小城市の基幹産業として位置づけられているが4つの課題について。

- ①販売高から見る小城市の農業について。
- ②地域に合った農業政策について。
- ③農業再生をどのように進めていくのか。
- ④環境保全対策について。

答 (市長) 何よりも農業者の創意工夫を生かし、自立的な取り組みが必要。

- ①以前、販売高も百億円の大台に乗ったことも聞いている。当時と比べ半分以下の状況でいろいろな要因がある現在、昨年から6次産業化の調査、研

究に取り組んでいる。

- ②農業を通じて体験することにより、自分を肥やしていくような授業を小学校の段階で取り組みしている。
- ③耕作放棄地の解消について国の補助である耕作放棄地再生利用緊急対策事業により農地として再生利用に取り組んでいる。
- ④麦ワラ焼却率が県内ワーストワンになっている。

その焼却時期には市役所にもいろいろ苦情も参っている。産地資源の活用により、麦ワラのすき込みなど有効活用をして環境保全に積極的に進めたい。

その他の質問

○通学路の安全対策、法定通学路について

その焼却時期には市役所にもいろいろ苦情も参っている。産地資源の活用により、麦ワラのすき込みなど有効活用をして環境保全に積極的に進めたい。



▲危険な夜の麦ワラ焼やし



樋渡 邦美

工業団地における企業誘致の現状は

市長

今までに12件の問い合わせがあった企業からあつた

問 今議会施政方針としてこの4年間の市政運営の総括を述べられたがその中から5項目について問う。

- ①小城市土地利用方針の目的と成果は。
- ②本庁舎が完成し庁舎を中心としたまちづくりが可能となったと申されたが具体的に
- ③一般廃棄物処理施設計画の現状は
- ④工業団地を整備したが企業誘致の状況は。
- ⑤市長と語る会を実施、その中で直接対話の何を大切にしているつもりか。

答 (市長)

- ①都市計画マスタープランとの整合を図り集約型のまちづくりを目指す。また土地利用の運用方針を示し規制での協議が必要。
- ②庁舎が一本化になって体制の強化とか、それぞれの特色のまちづくりにいろいろ展開できる。
- ③多久市のゆうらく跡地を候補地として選定。現在地区の説明会、関係区長との意見交換を実施している。
- ④現在1企業が立地している。視察に来た企業もあるが具体的な案件

約型のまちづくりを目指す。また土地利用の運用方針を示し規制での協議が必要。

- ⑤地域の課題を直接聞いて密着した政治ができるよう今後も継続という意味でも大事にしていきたい。

③多久市のゆうらく跡地を候補地として選定。現在地区の説明会、関係区長との意見交換を実施している。

④現在1企業が立地している。視察に来た企業もあるが具体的な案件

④現在1企業が立地している。視察に来た企業もあるが具体的な案件



▲小城蛍の郷ファクトリーパーク (工業団地)



西 正博

平成25年度福祉政策への 考え方は

市長

一人の命を大切にす
健康づくりを実践する

問 福祉への政策のうち
ワクチン接種や妊婦
健診の事業について、制
度運用面で少し変更され
る点があると聞いたが。

答 (市長) 子宮頸がん
予防ワクチンやヒ
ブ、小児用肺炎
球菌ワクチンの
3種は、今まで
任意接種として
の実施が25年度
からは、定期接
種へ変更され
る。ジフテリア
や結核などの一
類疾病の予防接
種は、国からの
補助が拡大され
る。

妊婦検診につ
いては、14回実



▲より子どもを産みやすく、より育てやすい小城市に

施は変わらないが、全額
国からの交付税措置に財
源が変わる。

問 子宮頸がん検診に、
HPV(ヒトパピ
ローマウイルス)併用検

診の導入へ、厚生労働省
が前進へ動く聞いたが。
(福祉部長) 全国で
200程度の自治体
に実施するということ
で、小城市として積極的
に進めたい思いはある
が、選ばれるかは
現時点では、不透
明である。

その他の質問

障がい者への施
策より

○教育政策より、
子どもたちへの
安心・安全な取
り組みについて

○再生可能エネ
ルギーへの政策に
ついての考え方



諸泉 定次

人口減・高齢化で 計画の見直しは

市長

下水道エリアの見直しは
国の改正に合わせる

問 下水道事業は、平成
42年までの初期投資
に総事業費550億円。
半分以上が小城市の持ち
出し。整備すればするほ
ど借金は膨らみ、小城市
の財政を大きく圧迫す
る。大胆に縮小すべきだ。

答 (市長) 下水道計画
は、少子・高齢化及
び人口減少に対応し、国
の改正に合わせ見直し
している。17年後の初期整備
は約4千人の人口減を採
用し、計画面積も縮小し
ており、早期の見直しは
ない。

問 昨年12月議会で否決
された市営浄化槽設
置条例を、今年6月議

に再提案の考えだが、原
案のままでない新たな
矛盾が生じる。それによ
り小城市に集中する都市
型合併浄化槽を、三日月
や芦刈にも拡大し、地域
的な不公平感をやわらげ
たらどうか。人
口減・高齢化で
跡継ぎがない
家庭で100
万、200万円
をかけて公共下
水道に接続する
だろうか。合併
浄化槽が災害に
も対応しやすい。

答 (市長) 平
成25年度か
ら人口密集地の
小城市の公共下

その他の質問

水道設置計画で、事業の
見直しは厳しい。

答 (市長) 平
成25年度か
ら人口密集地の
小城市の公共下



▲小城市処理区の中継ポンプ場建設の三日月町仁俣地区



香月チエミ

今後の保育・幼児教育の
方向性は

教育長

答申を受け調査、研究し
支援計画に反映する

問 教育委員会は幼児教育審議会に対し、

①今後小城市が進むべき保育・幼児教育の方向性
②公立保育園・公立幼稚園の役割と、施設の適正配置について諮問をされ
平成24年11月に答申が出された。①の方向性では
幼保一体化による新たな展開という理解でいいか。②について、現在中断している公立保育園民営化計画を見直し、公立幼稚園を含めた総合的な民営化計画を策定する必要がある、と提言されているがそのポイントは。

答 (教育長) 方向性については、国が指す新たな子ども・子育て

支援制度の確立に伴い、小城市が目指すべき幼保一体化の提言があった。また、公立施設の意義について、基準となる保育・幼児教育施設のあり方を示し、先駆的な研究、開発に取り

組むことがその役割と責任であるとの新言。国の新たな子ども・子育て支援制度が平成27年度から始まる。その準備として25年度から26年度までに、小城市

での子ども子育て支援事業計画の策定などがある。その際の保育のニーズ調査などしながら、答申を受けて調査、研究しこの事業計画に反映していく。



▲市内保育園の卒園式



光岡 実

市内において
体罰はあったのか

教育長

現在体罰と認められるものはあつてない

問 子供たちの安全・安心はどう守られているのか。特に今、全国的に問題となっているスポーツ指導における体罰について、わが小城市においては無いと信じてい

るが。

答 (教育長) 教育委員会としても、厳しく受けとめ、緊急調査の結果、事案が3件発生、しかし3件とも体罰までは

至らない、体罰とは認められないという事案であり、児童・生徒や保護者と十分な面談等を行った。

なお、現在は教職員、児童・生徒、保護者を対象にアンケート

を実施し、さらなる詳細な実態の把握に努めている。

いじめについても現在は発生していないが、集団生活をしているので、それを見抜く力を学校も教師もつけないければならないし、またやはり、学校と家庭との連携をより強く図っていくべきだと考えている。

その他の質問

- 小城市における高齢者への虐待の現状と対策
- 2期8年江里口市政の成果と課題
- 中国の大気汚染PM2.5の市民への影響と対応、対策は



▲元気に部活をする中学生



上瀧 政登

教育の現状を問う

教育長

指導方法の研究、改善に
取り組んでいる

問 昨今、学校に於けるいじめや体罰が社会的な問題となっているが小城市の現状はどうなっているか。

問 土曜日の授業再開について教育委員会としてどのように考えているか。

答 (教育長) 佐賀県は、土曜日の教育活動について本年度より、試行研究している。県は26年度より全市

町において教育実践を目指している。小

答 (教育長) 小城市では22年度より25年1月までありません。体罰までに至っていないことが小学校で2件、中学校で1件報告があつている。事案が発生した時には、学校で抱え込まずに教育委員会に報告し共通理解を図っている。



▲市内で一番児童数が多い三日月小学校

城市に於いても、土曜日等開校準備委員会を設置し計画案の研究及び策定を依頼している。県の指示が来たときに慌てないよう準備をしていきたい。



松尾 義幸

税金などコンビニ納付で
きないか

市長

導入が必要と考え、
実施の方向で検討中

問 ①出張所(市民課窓口)で、市税などの納付ができないか。また軽自動車税など納付証明の発行はできないか。②市税などコンビニで納付できないか。

い中での業務なので、本庁移行後は税務課で取り扱っています。②市民の皆様さんの利便性を考えコンビニ導入が必要と考えており、実施の方向で検討しています。

問 県内10市のうち小城市を除いて9市のコンビニ納付はどうなっているか。またいつ頃を目途にコンビニ納付を考えているか。

答 (税務課長) 9市で導入されています。26年度導入に向け、できたら6月補正予算に計上したい。

答 (市長) ①窓口で多額の現金を扱うことによる不慮の事態を少なくするため、手数料のみの収納としています。軽自動車税の納付証明書は、担当課への納付の確認や二重納付などの問題発生の可能性が高い。



▲スーパー内に出張所窓口(牛津町セリオ)

その他の質問

○アイルの運営について
○太陽光を活用した企業による、メガソーラーやソーラーの設置について



樋渡 利光

建築基準法12条の
定期報告とは

市長

対象物は数か所ある
県に報告している

問 昨年の12月2日、午
前8時中央自動車道
笹子トンネルの上り線で
起きた崩落事故、直近の
9月に実施した保守点検
については、目視と打音
でさびや亀裂など確認す
る詳細な点検だったと中
日本高速道路の金子社長
が謝罪、小城市ではどん
な危険が潜んでいるか。
そこで建築基準法第12条
に基づく定期報告制度に
ついて市では。

答 (市長) 建築基準法
第12条の定期報告制
度は、不特定多数の人々
が利用する特殊建築物や
建築設備、または昇降機
等を定期的に専用の技術
者に調査、検査をさせ、

特定行政庁(佐賀県知事)
に報告している。

問 近年、定期報告が適
切に行われていない
ことが一因と思われる建
築物や昇降機などの事故
が多発している。小城市
の定期報告対象建
築物、報告義務は。

答 (建設部長)
市の建物、市
有の建物は、市民
病院、ゆめりあ、
芦刈文化体育館、
ドゥイング、小城
公民館、小城中
学、三日月小学校、
牛津中学校となっ
ている。特殊建築
物は3年ごとに報

告している。昇降機等は
1年毎に報告の義務があ
る。

その他の質問

○病院、学校などの耐震
化について



▲東側庁舎の対震対策



深川 高志

農業基盤整備事業の
取り組みは

市長

暗渠排水事業は新しい事業の
中で取り組み

問 平成23年24年に実施
された暗渠排水事業
については、国50%、市
20%、農家負担30%で
あった。平成25年度の農
業基盤整備事業の暗渠排
水事業は、10a当り15万
円の定額助成であり農家
負担金は取らなくてもよ
いと考えるが、小城市は
この暗渠排水事業につい
ての取り組みをどうする
のか。

答 (市長) 暗渠排水事
業は、24年度取り組
んで、今回新しい事業の
中でこの取り組みという
形で事業が上がってお
り、まだまだ要望もある
ので、取り組んでいくこ
とで担当課と話しをして

いる。

(産業部長) 平成23年24
年実施した暗渠排水につ
いては、10a当り12万円
程度の中で30%の負担を
お願いした。

今回の事業
は、10a当り
15万円の定額
であり、あく
までも15万円
の定額で事業
をやってくだ
さいというこ
とで工事費用
に対する定額
の15万円と聞
いている。

前回事業と
違う定率補助
であり、農家
負担について



▲トレンチャーによる暗渠排水事業

も、近隣市町の取組状況
等を見ていきながら考え
ていきたい。



市丸 典夫

市政運営の中で 残された課題

市長

しっかりと対策は
していきたいと思う

問 市長選をひかえ市政運営の中で残された課題がいくつかある。そ

の中で運動公園跡地は十数年解決のめどがない。具体的には無理としても、市長の思い、方向性は。

(仮称)まちなか市民交流プラザについて

問 説明では、大型バスは交流プラザの南側

には駐車できない。北側の駐車場にとめていただ

くと。また、北側駐車場

に行くための入口となる

印刷所さんと小城庁舎の

南西角の拡張はできない

と。はたして大型バスが

スムーズに北側駐車場に

いけるのか。

答 (市長) 交流プラザは、中

活事業の中でも

メイン事業であ

る。市民の交流の

拠点であり、そし

てまた、小城の商

業、産業の起爆剤

となるような拠点

であってほしい。

車の進入等がど

う担保できるの

か、協議を深めて

いきたい。



▲生まれ変わる旧小城市庁舎



中島 正樹

中心市街地活性化事業の 現状と課題

市長

市民の意見を反映し
整備を進める

問 中心市街地活性化事業の現状と今後につ

いて

① JR小城駅周辺の環境

整備は。

② 小城公園高質化推進事

業は。

③ まちなか交流プラザは。

らの要望も含めて今後、

整備を進めていく。

市の街路灯施策について

問 街路灯整備状況と管理体制は。

答 (市長) 街路灯設置場所は市内に数か所

あり、管理についての財

源は、それぞれ異なっ

ている。

問 本町地区の機能補償と北小路区と蛭子町

地区の使用賃貸借契約の問題解消策はどうする。

答 (産業部長) 本町地区については土木事



▶完成が待たれる駅周辺整備 (イメージ図)